

## 目 次

配電線の電圧調整と管理	配電電圧調整専門委員会
委員会組織	( 1 )
第1章 緒 言	( 2 )
1-1 委員会発足の経緯	( 2 )
1-2 研究経過	( 2 )
1-3 各章の概要	( 2 )
第2章 配電電圧調整に関する基本的事項	( 3 )
2-1 需要家端子電圧	( 3 )
2-1-1 電圧変動が機器に与える影響	( 3 )
2-1-2 許容変動範囲	( 5 )
2-2 電圧調整の概念	( 7 )
2-2-1 電圧調整の概念的考察	( 7 )
2-2-2 需要家供給電圧に影響を与える諸元	( 10 )
2-3 配電電圧調整の現状と考慮すべき事項	( 11 )
2-3-1 配電電圧調整の現状	( 11 )
2-3-2 電圧調整上考慮すべき事項	( 17 )
第3章 配電電圧調整に関する理論的考察	( 20 )
3-1 一般考察	( 20 )
3-1-1 プログラム調整と LDC 調整	( 20 )
3-1-2 配電系統における LDC 方式の適用	( 20 )
3-1-3 LDC 調整方式の応用	( 21 )
3-1-4 考察の手法	( 21 )
3-2 モデル配電線による解析	( 23 )
3-2-1 計算手法	( 23 )
3-2-2 計算条件	( 26 )
3-2-3 計算結果	( 28 )
3-3 要約	( 46 )
3-3-1 理想的送出電圧に関する事項	( 46 )
3-3-2 理想的送出電圧から実現可能送出電圧への移行に関する事項	( 46 )
3-3-3 適正率の算出に関する事項	( 47 )
3-3-4 今後の問題点	( 47 )
第4章 電圧調整装置の特性、機能とその適用	( 47 )
4-1 変電所母線電圧調整装置	( 47 )
4-1-1 機器の概要	( 47 )
4-1-2 機器の特性、機能	( 48 )
4-1-3 母線電圧調整装置の適用	( 49 )
4-2 高圧線路用自動電圧調整装置	( 52 )
4-2-1 機器の種類と特性	( 52 )
4-2-2 高圧線路用自動電圧調整装置の適用	( 55 )
4-3 高圧コンデンサ	( 56 )
4-3-1 直列コンデンサ	( 56 )
4-3-2 並列コンデンサ	( 57 )
4-4 低压自動電圧調整装置	( 61 )
4-4-1 機器の種類と構成	( 61 )

4-4-2 低圧自動電圧調整装置の適用	( 64 )
4-5 柱上変圧器	( 64 )
4-5-1 ゼロインピーダンス変圧器	( 64 )
4-5-2 負荷時タップ切換柱上変圧器	( 64 )
4-6 各種電圧調整装置の併用	( 65 )
4-7 要 約	( 66 )
第5章 電圧管理	( 67 )
5-1 電圧管理の概念	( 67 )
5-1-1 30分平均電圧変動の管理	( 67 )
5-1-2 電圧急変動の管理	( 68 )
5-2 電圧管理の方法	( 68 )
5-2-1 サンプリング管理	( 68 )
5-2-2 個別管理	( 68 )
5-2-3 電圧の維持改善対策	( 73 )
5-2-4 各社における電圧管理の現状	( 74 )
5-3 電圧管理用計器	( 74 )
5-3-1 屋外用記録電圧計	( 74 )
5-3-2 携帯用指示電圧計	( 74 )
5-3-3 最大、最小電圧計	( 78 )
5-3-4 統計電圧計	( 78 )
5-3-5 電圧管理計	( 78 )
5-3-6 平均値電圧計	( 79 )
5-3-7 最大需要電流計	( 80 )
第6章 電圧調整および電圧管理における電子計算機の適用	( 80 )
6-1 適用対象と目的	( 80 )
6-2 手 法	( 80 )
6-2-1 送出電圧と需用家端子電圧の算出	( 81 )
6-2-2 kWh法など	( 85 )
6-2-3 ロードタップチェンジャの検討	( 90 )
6-2-4 負荷曲線の模擬	( 90 )
6-3 将来の電子計算機の応用	( 93 )
6-4 要 約	( 94 )
第7章 諸外国の実情	( 94 )
7-1 許容電圧変動範囲	( 94 )
7-2 電圧調整方式	( 95 )
7-2-1 電圧降下配分	( 95 )
7-2-2 電圧調整方法	( 103 )
7-2-3 変圧器のタップ	( 105 )
7-3 電圧管理	( 108 )
7-3-1 米国の一例	( 108 )
7-3-2 フランスの一例	( 108 )
7-4 要 約	( 108 )
第8章 む す び	( 109 )
8-1 研究内容の要約	( 109 )
8-2 今後の課題	( 110 )
付I 配電用変電所母線電圧調整装置実態調査結果	( 111 )
付II 高圧配電線負荷実態調査	( 118 )
付III 配電々圧調整問題の計算	( 123 )
提出資料一覧表	( 129 )
電気協同研究会の動き	( 131 )